

吹田市地域医療推進懇談会
今年度の進め方

1 目指す姿と検討すべき対策の柱 (平成31年4月)

目指す姿

- 将来の在宅医療の医療需要に見合った在宅医療の供給体制の整備
- 医療関係者及び多職種連携により、安心して質の高いケアの提供体制の構築(※)
- 在宅医療やかかりつけ医等についての市民理解の促進

(※)在宅医療・介護連携推進事業とあわせて推進

1 在宅医療の推進及び在宅医療を支える連携体制の構築

- ①医師の在宅医療に対する負担軽減のための連携体制の検討
(医師のグループ化等による連携や引継ぎ等)
- ②かかりつけ医等による在宅医療の充実
(かかりつけ機能の充実及び、訪問診療・訪問歯科診療・在宅薬剤管理指導の充実)
- ③訪問看護の事業所間の協力支援体制の構築、病院看護師との看看連携の促進
- ④病病連携・病診連携等の促進
急変時における入院受入れ体制の検討(バックベッドの問題)、
情報共有による連携促進の工夫(地域連携パス・ICTの研究・医療資源等のリスト化)

2 医療関係者等の理解や知識・スキルの向上

在宅医療や在宅療養、在宅看取り等についての知識や理解、技術の向上

(診療所医師・病院医師・病院看護師・退院支援担当者・薬剤師・歯科医師・施設職員等)

3 市民への啓発・情報提供

適正な病床機能やかかりつけ医、在宅医療という選択肢、最期の迎え方等について、市民啓発や情報提供のあり方の検討

2 令和元年度の取組（案）

懇談会3回、作業部会3回 開催。

検討すべき対策の柱		機関	検討事項・取組みの概要
1 在宅医療の推進及び、在宅医療を支える連携体制の構築	① 医師の在宅医療に対する負担軽減のための連携体制の検討	医師会高齢者対策委員会等	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療実施医師と顔の見える関係づくり ・後方支援病院や地域包括ケア病棟等についての情報提供 ・訪問診療の実態に関するアンケートの検討等 についての具体的検討
	② かかりつけ医による在宅医療の充実	歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアや摂食・嚥下機能へのサポートについて他団体への周知 ・がん患者への医科歯科連携 等の推進
		薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅薬剤管理指導の同行訪問 ・麻薬の適正使用・無菌調剤・栄養管理等に関する研修会 ・薬剤の一元的継続的管理のためのかかりつけ薬局機能の強化 等
		訪問看護事業所及び市内5病院看護部と市	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護事業所への出向や実地研修のメリットについて病院等への周知 ・実地研修等の標準的プログラムの作成 ・訪問看護事業所と病院看護師の連携促進のための研修会の企画 等について検討
	④ 病病連携・病診連携等の推進	懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の在宅療養患者への対応状況についての情報提供 ・病病連携のあり方等について議論

検討すべき対策の柱		機関	検討事項・取組みの概要
2 医療関係者等の理解や知識・スキルの向上	在宅医療や在宅療養、在宅看取り等についての知識や理解、技術の向上	懇談会構成各機関	各主体において、自院及び自院以外の医療関係者も対象とする研修会等の継続・検討
		市	市主催の病院職員対象研修会の実施
		作業部会 懇談会	ACPに関する医療関係者の理解促進と具体的支援のあり方について検討
3 市民への啓発・情報提供	病床機能やかかりつけ医、在宅医療という選択肢、最期の迎え方等について、市民啓発や情報提供		ACPに関する市民啓発のあり方について検討
		懇談会	かかりつけ医等の定着促進、医療機関のかかり方、ACP等に関する市民啓発のあり方について検討
		市 懇談会構成各機関	市主催の市民講演会の実施 各主体も市民に向けた啓発の実施の検討

3 年間スケジュールのイメージ

R1.6

R1.8

R1.10

R1.11

R2.1

R2.2

懇談会

第1回

- ・今年度の進め方
- ・かかりつけ医等の定着促進等の啓発のあり方 等

第2回

- ・かかりつけ医等の定着促進等の啓発のあり方
- ・作業部会の進捗報告、検討
- ・その他

第3回

- ・かかりつけ医等の定着促進等の啓発のあり方
- ・作業部会の報告、検討
- ・今年度の取組状況の確認 等

作業部会

第1回

- ・ACPに関する現状及び課題の抽出

第2回

- ・ACPに関する市民への情報提供や啓発のあり方等の検討

第3回

- ・ACPの医療関係者の理解促進と具体的支援のあり方等の検討

(※)各回の開催時期及び内容は、日程調整や議論の進捗状況等により変更の可能性あり

令和元年度 吹田市地域医療推進懇談会 作業部会の趣旨について

1 令和元年度の作業部会の趣旨

現在、本市では、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

吹田市地域医療推進懇談会の議論においても、延命治療を望まない意思表示している方の救急搬送の問題も含め、人生の最終段階における医療・ケアにおいて十分に本人の意思が尊重されることの重要性についての意見が出されています。

そうした意見を踏まえて今年度の作業部会では、人生の最終段階における医療やケアに関する本人の意思決定や支援についての現状把握と課題の整理を行い、市民の意思を尊重したアドバンス・ケア・プランニング(ACP)ⁱの推進方法について議論を行います。

2 作業部会での論点

- ・ 人生の最終段階における医療・ケアに関する意思表示や支援の現状と課題
市民側の意思表示の現状と課題
医療関係者側の支援の現状と課題
- ・ 本人の意思を尊重した支援につなげるための対策について
市民・医療関係者・行政等、それぞれがどうあるべきか
市民への情報提供や啓発のあり方
医療関係者側の理解促進と具体的支援のあり方 等

3 回数 3回開催

- 1回目 現状と課題の洗い出し
- 2回目 市民への情報提供や啓発のあり方
- 3回目 医療関係者側の理解促進と具体的支援のあり方等

4 構成員 8名

診療所医師:2名	病院医師 :1名
訪問看護師:2名	病院看護師:1名
学識経験者:1名	ケアマネジャー:1名

5 その他

地域医療推進懇談会及び作業部会、また、高齢福祉室所管の在宅医療・介護連携推進協議会(作業部会)の意見を聞きながら、市民啓発媒体の検討も進めていく予定。

ⁱ アドバンス・ケア・プランニング(ACP)

人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取組